www.garde-intl.com

# **Berlin / Frankfurt Report**

April 2018

## **CONTENTS**

\* Project 1: Lulu Guldsmeden

\* Project 2: Jil Sander Exhibition



#### 1. Hotel Lulu Guldsmeden

### **Project Overview**

ヨーロッパでいま最も注目の観光地として、ホテルのオープンラッシュが続くベルリン。話題のニューオープンは デンマーク発の「ルル・グルズメデン」だ。このホテルがモットーとして掲げるのは「ヒュッゲ」。デンマーク語 で「居心地のいい雰囲気」を指すこの言葉。インテリアも北欧風をベースにしながらも、バリ島の照明、アジア風 の竹製のベッドに重厚な革張りのアンティークソファというミックススタイルで、肩の力が抜けたリラックスでき る空間になっている。乾いた色の木の家具やレンガの色合いに、ヴィンテージの絨毯が色と素材感のアクセント。 1階には、北欧料理のオーガニックレストランがあり、その一角がレセプションになっている。こちらも自然素材 を使ったインテリアだが、壁や家具のトーンを暗めに抑え、北の海をイメージさせるガラスのモザイクをバーカウ ンターに採用して、シックな印象に。

このホテルのオーナーは建築家でもあるマーク・ヴァイナート。自ら建築・インテリアの指揮をとった。20 世紀初 頭の住宅建築を使った古いホテルを改装し、さらに上に1階分の高さを追加したこの物件。最上階のスイートルー ムはメゾネットタイプで大きな出窓があり開放感たっぷり。大規模な改装が行われたが、時代を感じる精緻な細工 を施した階段の手すりなどのディティールはあえて残し、アジア風の小物や照明でモダンな印象を与えている。

# **Project Details**

1. Type of Business: Hotel 2. Open Date: 28/12/2017

3. Location: Potsdamer Straße 67, 10785 Berlin

4. Size: 81rooms

5. Architect: Marc Weinert

#### **Location Map**







メゾネットタイプの「ルル・スイート」。メゾネットの枠や間仕切りなどに黒いスチールを採用し、優しい印象のインテリアを引き締める



天蓋付きのベッドは竹を使っている。サステイナブルさも、コンセプトの一つだ。



ロビー兼カンファレンスルーム。レセプションは通路を挟んで反対側に設置し、引き戸で仕切ることができる作りに。奥にも個室が。



ホテル入り口。右手にはロビー兼カンファレンスルーム、左手にはレセプションとレストラン。通路にはグリーンを置いて。



レセプションの奥にはニューノルディック・キュイジーヌを提供するレストラン「Sæson」。

壁はダークグレーに統一。張り出したガラス窓を支える鉄骨や排気パイプなども同色に塗って。鱗のようなガラスモザイクがアクセントに。



#### 2. Jil Sander Exhibition

## **Project Overview**

ファッションデザイナー、ジル・サンダー初の単独の展覧会。ファッションだけではなく、時代を動かしたキャンペーン広告、建築やデザイン、アーティストとコラボレーションした庭づくりまで、多岐にわたるジル・サンダーのクリエイションにスポットをあてる。

会場はフランクフルトの応用工芸博物館。フランクフルト出身ではないジル・サンダーが初の展覧会会場にここを選んだ理由は、モダニズム建築の騎手として知られるアメリカ人建築家リチャード・マイヤーが 1985 年に手がけたこの建築が気に入ったからだという。マイヤーのトレードマークである白く無駄のない空間に、ジル・サンダーのピュアでエレガントな作品が、凛と映えるのだ。展覧会を訪れた観客は、大きな吹き抜けにあるスロープに出迎えられる。ジル・サンダーのショーに使われた音楽に包まれながら、ゆっくりと歩いていくと、目の前にジル・サンダーの 1999-2000 秋冬のヴィジュアルが現れ、目を奪われる。

引き算によって生まれるシルエットの美しさを堪能できるよう、様々な角度から洋服を見られるような工夫も。パターンはもちろんショップの建築やインテリアのアイデアスケッチ、設計図なども展示。建築までをも含めて、ジル・サンダーの世界観を堪能できる。

## **Project Details**

1. Type of Business: Exhibition

2. Open Date: 04/11/2017 - 06/05/2018

3. Location: Museum Angewandte Kunst, Schaumainkai 17, 60594 Frankfurt am Main

4. Size: 3000 m2

5. Curator: Matthias Wagner K

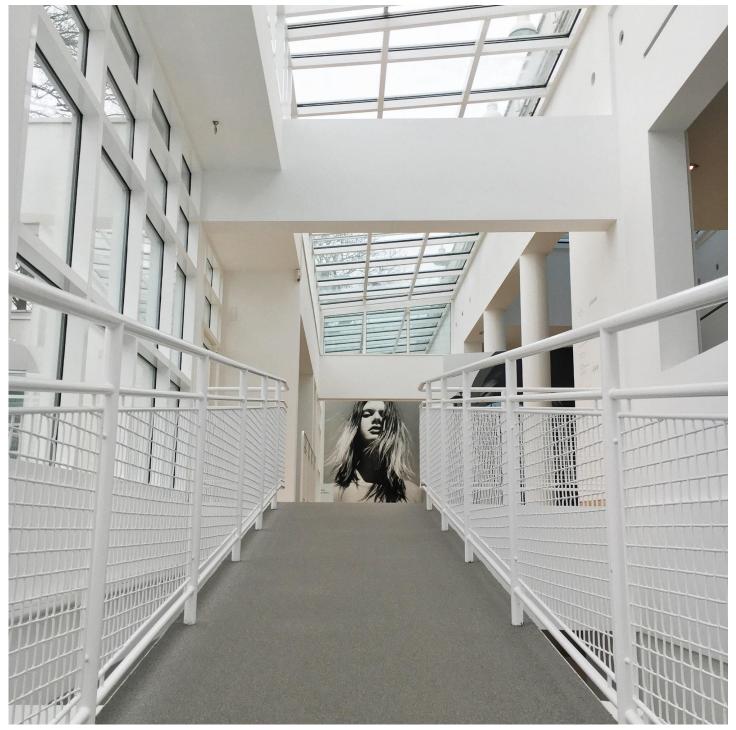
6. Photo credit:

View of the Exhibition "Jil Sander. Present Tense", 2017, Museum Angewandte Kunst © Paul Warchol

## **Location Map**







コルビジェやバウハウスにも通じる、機能美を感じさせるリチャード・マイヤーの建築。

フランクフルトの応用工芸博物館は、マイヤー初のヨーロッパに作られた建物。3つのキューブをつなげた作りの建築は、窓枠やスロープの手すり 部分もグラフィカルで、楽しい。





イタリアのコンセプチュアルアーティスト、アリギエロ・ボエッティの作品とのコラボレーション。 展示空間2面にテキスタイルを張り巡らし、洋服のシルエットだけを浮かび上がらせた。



自らをピュリスト(純粋主義者)と称したジル・サンダー。無駄を削ぎ落とし、美しいシルエットの真髄に迫るパターンも展示。